

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2025年
10月号
Vol.72 No.842

巻頭言

リスク対応力の強化(BCP:事業継続計画)2 野口幸作

会告

荒川クリーンエイド2025
第163回日暮里塾ワンコインセミナー
第75回きめこまかな生涯教育
第164回日暮里塾ワンコインセミナー

お知らせ

2025年度第13地区研修会
2025年度第3地区研修会

報告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会(抄)
2024年度 表彰 受賞者

連載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第26回 表面型大腸腫瘍④
～側方発育型大腸腫瘍(laterally spreading tumor:LST)について～ 安藤健一



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>



放射性医薬品／悪性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬 処方箋医薬品^(注) [保険適用]

フルデオキシグルコース(¹⁸F)静注「FRI」

Fludeoxyglucose(¹⁸F) Injection FRI

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F) 注射液 ^(注)注意—医師等の処方箋により使用すること。



製造販売元

PDRファーマ株式会社

文献請求先及び問い合わせ先 TEL03-3538-3624
〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

※「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、
「使用上の注意」等については電子添文をご参照ください。

2022年3月作成

光製薬の造影剤

処方箋医薬品^(注)
非イオン性造影剤 薬価基準収載

イオヘキソール注シリンジ

イオヘキソール300注シリンジ50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL[HK]
イオヘキソール350注シリンジ70mL/100mL[HK]

(日本薬局方 イオヘキソール注射液)



処方箋医薬品^(注)
非イオン性尿路・血管造影剤 薬価基準収載

イオバミドール300注シリンジ50mL/80mL/100mL [HK]
イオバミドール370注シリンジ50mL/65mL/80mL/100mL [HK]
(日本薬局方 イオバミドール注射液)



処方箋医薬品^(注)
環状型非イオン性 MRI 用造影剤 薬価基準収載

ガドリードル静注シリンジ

ガドリードル静注シリンジ13mL[HK]
ガドリードル静注シリンジ17mL[HK]
(ガドリードル注射液)



(注)注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果・用法・用量・警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

<https://www.hikari-pharm.co.jp>



光製薬株式会社

(文献請求先及び問い合わせ先) 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2-11-15
TEL 03(3874)9351 FAX 03(3871)2419

2021年1月作成

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 リスク対応力の強化 (BCP : 事業継続計画) 2	副会長 野口幸作 3
会告1 SRTA学術大会演題募集要項	国際委員会 4
会告2 2025年度城北支部研修会	城北支部委員会 5
会告3 荒川クリーンエイド2025	広報委員会 6
会告4 第163回日暮里塾ワンコインセミナー … 教育委員会、放射線相談委員会	7
会告5 第75回きめこまかな生涯教育	学術委員会 8
会告6 第164回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 9
お知らせ1 2025年度第14地区研修会	第14地区委員会 10
お知らせ2 2025年度第13地区研修会	第13地区委員会 11
お知らせ3 2025年度第3地区研修会	第3地区委員会 12
報告 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会(抄)	13
2024年度 表彰 受賞者	23
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第26回 表面型大腸腫瘍④～側方発育型大腸腫瘍 (laterally spreading tumor : LST)について～	安藤健一 24
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2025 No.7)	30
2025年度第4回理事会報告	31
2025年4月～8月期会員動向	37
Column & Information	
・東放見聞録	34
・東放技入会無料のお知らせ	35

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



リスク対応力の強化(BCP:事業継続計画)2

副会長 野口幸作

記録的猛暑に見舞われた今年も、この刊が発行される10月には少しあは秋の兆しが見えていることを期待する。9月1日は「防災の日」、9月全体は「防災月間」といわれている。1923年に関東大震災が起きたことと、9月は台風や大雨が多いことから、災害に備えつつ知識を深めるために制定されたそうである。自然災害による被害は毎年あり、身近なところでも万が一の事態が起こる可能性は少なくない。だからこそ、災害に対する備え、非常食の賞味期限の確認、防災グッズの使用状況の確認が大事といわれている。東京都としては、令和7年3月28日に「東京防災アクションプラン」が改訂されたそうで、因みに、11月19日は、東京の備蓄推進プロジェクトとして、備蓄の日で、1年に1度は、びち(1)く(9)の日とされている。

そこで、2008年9月号の葛西元副会長の巻頭言を思い出した。当時のBCPの考え方から行政官庁や企業の取り組み、医療業界の状況が記載されている。ここでは、この議論は行わないが、最後に技師会としての考えを述べられているので、下記に記載する。

技師会としては、技師会活動としての事業継続に関しては、只今、詳細な内規の策定、改定の準備を進めており、将来において、統一した事業継続の方向性は確保できる段階ではあります。また、災害時の対応、感染症関連の情報および一般的な対策などを通じて、啓蒙・啓発活動の必要性があります。会員の皆様におかれましても、守るべきものと守るべきレベルの設定が不可欠であり、備えあれば憂いなしという諺にもあるように、医療に携わる組織人として、また家庭を構成する家人として、更には一個人として、行動計画の策定を試みては如何でしょう。

○○という子供向け戦隊番組があります。ただ単なる戦いものではなく、レスキュー隊の活躍を通じて随所に災害対策と予防の方策が表現されていて、今までになかったシチュエーションにびっくりさせられました。子供にさえ啓発活動をしている今日、我々放射線技師として、また、医療に携わる医療人として、必要な時に行動に移せる身と心の備えが必要ではなかろうかと考えます。このBCPとは単なるプランではなく、リスクを把握することにより対応能力を分析し、対策の考えを導き出すという、リスク対応力の強化が今日求められていると私は考えます。(一部、改変しています。)

今から17年前の状況だが、ものの考え方や立ち位置は変わらないが、社会状況は変化する。コロナ発生前に感染症関連を頭に入れていたことは、敬服させられた。変化した社会情勢を汲みつつ、今後の技師会としてのあり方を模索している現状である。現在、災害対策委員会が中心になり、東京都診療放射線技師会の技師会としての事業継続計画(BCP)を策定中である。まずは、自分と家族の身、職場の状況を解決してからの最後の位置かもしれないが、技師会としても事業の継続性の確保に努めていけたらと考えている。葛西元副会長が言われる様に、17年前と同様に、リスク対応力の強化が今後も求められていると、私も考える。

会 告

1

ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

公益社団法人東京都診療放射線技師会（以下、本会という）では、ソウル特別市放射線士会（SRTA）との学術交流協定に基づき、下記の日程で開催される学術大会で研究発表を行う会員に対して渡航費および滞在費の一部を助成します。

この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

学 会 名 :	2026年ソウル特別市放射線士会学術大会 (SRTA)
開催期間 :	2026年3月19日(木)～22日(日) (International session : 3月21日予定)
会 場 :	大韓民国ソウル市・COEX (ソウル特別市 江南区三成洞159貿易センターCOEX)

【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします
- ② スライドもすべて英語表記とします
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします（期限は演題採用決定後通知）

【2】応募資格

本会の会員で、2025年度会費完納者に限ります。

【3】募集演題数

2題（予定）

応募演題の中から学術委員会または国際委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

【4】応募方法および期限

応募演題抄録を2025年10月15日(水) 24時00分までにメールにて添付送信してください。

※応募演題抄録について

図表なしで、題名、演者名、所属施設、目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ横書き各1枚で作成してください。なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

原則として本会同行者とともに同一行動とし、SRTAとの国際交流をしていただきます。

【6】送信先（お問い合わせ）

国際委員長 桐 洋介 Email : kokusai@tart.jp

メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください。

以上

2025年度 城北支部研修会（ハイブリッド開催）

感情コントロールと上手な伝え方を学ぼう ～アンガーマネジメント&アサーティブコミュニケーションについて～

講師：上尾中央総合病院 小川 智久 氏

みなさんは、自分の意見や感情を相手に強く押し付けたり、相手の気持ちを尊重せず、自分の意見を一方的に主張したりしていませんか？上司に意見を伝える時、同僚に相談する時、部下に指示を出す時、もつとうまく伝えられたらいいのにななど、思ったことはありませんか？

2025年度の城北支部研修会は、上尾中央総合病院の小川智久先生を講師にお迎えして、アンガーマネジメントと、アサーティブコミュニケーションのスキルについてご講演いただきます。アンガーマネジメントとは、決して怒らないようにしようとする事を目指すものではありません。怒りのメカニズムを理解することで、怒りの気持ちをコントロールしやすくなります。相手の気持ちを尊重し、お互いの意見を尊重したコミュニケーションを心がけるようにすれば、職場のコミュニケーションが円滑になり、居心地の良い職場を作る事ができるようになります。アサーティブコミュニケーションは、仕事場だけではなく、日常生活においても役立つコミュニケーションスキルです。自己肯定感も高める事ができるこのスキルと一緒に学んで、良好な人間関係を築きましょう。みなさまのご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

- 日 時：2025年10月24日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）
定 員：現地参加20名・Web参加80名（先着順）
受 講 料：無 料
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
申込締切日：2025年10月20日（月）（HPの申し込み停止は、締め切り日の翌日以降になります）
問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：shibu_jyouhoku@tart.jp
第5地区委員長 北野りえ
第6地区委員長 伊佐理嘉
第16地区委員長（城北支部委員長） 関谷 薫
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

会 告

3

地球環境保全活動 荒川河川敷清掃

【荒川クリーンエイド2025 北区 荒川岩淵関緑地】

主催：北区まちづくり道路公園課／特定非営利団体 荒川クリーンエイド・フォーラム

第5地区では、活動目的の一つとして環境保全ボランティア活動を行っております。

本年度も北区主催による『荒川クリーンエイド』が開催されますので、参加企画を致しました。

荒川河川敷の「ゴミ拾いウォーキング」を体験してみませんか？きっと「ありがとう」が自然と生まれる、そんな時間になっているはずです。ご家族・お友達との参加もOKです。

皆さま、ふるって参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日 時：2025年10月25日（土）10時00分～12時00分（受付開始9時30分～）

※雨天の場合中止

場 所：荒川岩淵関緑地（バーベキュー場付近）

東京都北区岩淵町23番45号先 荒川岩淵関緑地

※現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にお集まりください。

ア クセス：JR赤羽駅 東口下車 徒歩約20分

東京メトロ南北線 赤羽岩淵駅1番出口より 徒歩約15分

王子駅または赤羽駅より都バス「王57系統」岩淵町停留所下車 徒歩約10分

参 加 費：無 料

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、

または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年10月19日（日）

問い合わせ：第5地区委員長 東京科学大学病院 北野りえ E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第163回日暮里塾ワンコインセミナー 放射線相談委員会共同企画 テーマ 放射線相談の基本の「き」

1. 放射線相談で大切にしていること

講師：日本医科大学多摩永山病院 筒沼 和智 氏

2. いまさら聞けない…線量概念のこと

講師：杏林大学 大学院保健学研究科 石川 純也 氏

第163回日暮里塾ワンコインセミナーは、放射線相談委員会との共同企画で開催いたします。日常業務の中で、患者様から放射線に関する質問を受けることは多いのではないでしょうか。その際、どのように説明すればよいか悩んだり、「いまさらこんなこと聞けない」と思ってしまったりすることはありませんか？本企画では、放射線相談で大切にすべきポイントをはじめ、あやふやになってしまった線量の基本的な考え方などについて、わかりやすく解説いたします。日々の対応に役立つ知識を深める機会として、ぜひご参加ください。

事前の登録は前日までとさせていただきますが、定員（40名）に余裕がある場合には、当日のご参加も受け付けております。

当日参加をご希望の場合は、学術委員会（gakujitsu@tart.jp）まで直接ご連絡ください。

記

日 時：2025年11月14日（金）18時30分～20時00分（受付開始18時15分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員 500円 非会員 3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年11月13日（木）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitsu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

会 告

5

第75回きめこまかな生涯教育（会場開催）

テーマ「画像再構成をイチから学ぶ ～理論的な基礎から臨床応用～」

講師：①画像再構成の基礎

東邦大学医療センター大橋病院 皆川 智哉 氏

②各モダリティの画像再構成と臨床応用

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 鳥越 留美子 氏

株式会社フィリップス・ジャパン 吉田 学誉 氏

シーメンスジャパン株式会社 佐藤 伸一 氏

GEヘルスケアジャパン株式会社 斎藤 憲彦 氏

今回の「きめこまかな生涯教育」では、画像再構成の基礎について詳しく解説いたします。前半は、基礎的な内容から数学的理論までを取り上げて、後半は各モダリティにおける画像再構成と臨床応用について、メーカーの最新技術を交えながら説明していただきます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

なお、定員に満たない場合は当日参加も受け付けます。当日参加をご希望の方は、学術委員会(gakujitu@tart.jp)まで直接ご連絡ください。

記

日 時：2025年11月15日（土）15時00分～17時00分（受付開始14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年11月12日（水）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724



以上

第164回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ「Japan DRLs 2025の概要」

講師：国際医療福祉大学成田病院 放射線安全管理部・放射線技術部 五十嵐 隆元 先生

令和7年7月7日に5年ぶりに診断参考レベル（DRLs）の改定版が公開されました。医療放射線の安全管理において非常に重要な指標です。DRLの目的は最適化であり、正当化された検査を実施するため、我々はどこが変わったのかを把握して、日常業務に従事する責務があると思います。今回はWeb開催ですが、参加費を徴収して開催いたします。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：2025年11月20日（木）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：下記のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

申込URL

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P554146495



※セミナー参加費はカード決済後、欠席された場合でも払い戻しはいたしかねます。

何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

申込締切日：2025年11月13日（木）

問い合わせ：教育委員会 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

お知らせ

1

2025年度 第14地区研修会（Web開催）

テーマ「診療放射線技師の転職動向2025」

講 師：株式会社 SEプラス キャリアコンサルタント 川上 貴士 氏

医療を取り巻く社会情勢の変化により就業環境の多様化が進んでいることから、多くの診療放射線技師が医療機関のみならず企業等も含めた幅広い場において活躍されています。本年度の第14地区研修会では、診療放射線技師の求人状況・転職動向を踏まえて、転職を円滑に成功に導くための準備から戦略、特に企業等への転職に際して知っておくとよい事項について解説していただく予定です。キャリア形成を見据えた情報収集の機会として有益な内容となっておりますので、転職を具体的に検討中の方だけでなく、将来のキャリアチェンジについて考えたい方にも役立つと思います。

多くの皆様のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年10月17日（金）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年10月9日（木）

問い合わせ：第14地区委員長 長谷川浩章 E-Mail：area14@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



2025年度 第13地区研修会（Web開催）

テーマ「タスク・シフト/シェアのススメ
～告示研修から臨床導入まで～」

講 師：東海大学医学部付属八王子病院 診療技術科 科長 福井 浩 氏

タスク・シフト/シェアは進んでいますか？ 告示研修は修了していますか？

2021年5月の技師法改正により、複数の業務拡大が認められました。また、2024年2月には「タスク・シフト/シェアのためのガイドライン集」が発行され、皆様も一度は目にしていると思います。

2025年3月31日時点での告示研修修了者は37,000人を超え、タスク・シフト/シェアを業務として行っている施設も増えてきました。

今回の第13地区研修会では、タスク・シフト/シェアを導入している施設より講師をお招きし、導入に至るまでの経緯や教育・運用方法、今後の課題などをお話しいただきます。臨床導入に向け動き出している施設、まだ検討中の施設、共にきっかけとなる研修会だと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2025年11月4日（火）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年11月1日（土）

問い合わせ：第13地区委員長 鮎川幸司 E-Mail：areal3@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

お知らせ

3

2025年度 第3地区研修会（会場開催）

テーマ「学ぼう！腎・副腎疾患」～各モダリティーからのアプローチ～

講 師：

1 「基礎概論・RI」	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	齋藤 郁里 氏
2 「CT」	東京医科大学病院	平瀬 繁男 氏
3 「MRI」	JCHO埼玉メディカルセンター	田島 大 氏
4 「血管造影」	東京女子医科大学病院	戸井田 元 氏

第3地区研修会では、昨年、一昨年と各臓器疾患をテーマにして心臓、頭部、肝臓についてモダリティごとに撮影法やその対応について解説してきました。今回は、腎・副腎疾患にCT・MRI・RI・Angioに携わる先生方をお招きして開催いたします。対面形式で開催される研修会では、対面ならではのコミュニケーションがあり、得られる刺激や情報はオンライン研修に変えがたいものがあると思います。是非、現地に足を運んでいただき、熱い講演を肌で感じ、新たな情報を持ち帰っていただき、普段の診療に活かしていただきたいと考えておりますので、ご参加よろしくお願いいたします。

記

日 時：2025年11月28日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東京医科大学病院 第一研究教育棟3階第一講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目7-1

アクセス：東京メトロ丸の内線：西新宿駅（東京医大病院前）下車2番出口またはE5番出口よりすぐ
都営大江戸線：都庁前駅 下車A7番出口より徒歩約7分

開催方式：会場開催

定 員：50名

受 講 料：会員 500円、非会員 1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年11月27日（木）

問い合わせ：第3地区委員長 布川嘉信 E-Mail：area03@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会(抄)

日時：2025年6月21日(土) 14時00分～
会場：AP秋葉原

鈴木総務委員長：只今より 第78回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。



はじめに、江田哲男会長よりご挨拶を申し上げます。
江田会長：会長の江田でございます。本日はご多忙の中公益社団法人東京都診療放射線技師会第78回定期総会にご参集いただき誠にありがとうございます。本日は昨年度の事業報告案、決算報告案のご審議と、第三号議案として役員報酬規定改正についてご審議いただきます。皆さまから活発なご意見を頂戴したいと存じますのでどうぞよろしくお願ひ致します。

鈴木総務委員長：江田会長ありがとうございました。次に総会議事に先立ち、表彰を執り行います。2024年度における、功労賞・労働精励賞・小野賞・学術奨励賞の表彰及び感謝状の贈呈を執り行います。表彰委員会 黒澤委員長よろしくお願ひします。

黒澤表彰委員長：2024年度の表彰を行います。氏名をお呼びしますので、受賞者の方々は、その場でご起立ください。

本会 表彰規程 第3条第2項第2号により功労賞の表彰を行います。



功労賞は、20年以上にわたり放射線業務に精励し、委員長として5年以上の役員を歴任された方、または委員長および委員として15年以上の間、当会の運営・活動に尽力された方に、その功績を称え理事会の決定により表彰致します。受賞者は、中西 雄一さん、原子 満さん、以上2名の方々です。

代表して、原子 満さん、前方へお願ひします。

【賞状授与】おめでとうございました。

着席を確認する

続きまして、本会 表彰規程 第3条第2項第5号により小野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり本会活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に、各委員会からの推薦を受け、理事会の承認を受けた方々に贈られます。受賞者は、寺嶋 元一さん、宮下 麻依さん、三上 徹さん、中田 健太さん、飯塚 雅子さん、小西 智誠さん、上利 武生さん、齋藤 晴美さん、以上8名の方々です。

代表して、中田 健太さん、前方へお願ひします。

【賞状授与】おめでとうございました。



続きまして、本会 表彰規程第3条第2項第6号により労働精励賞の表彰を行います。

労働精励賞は、20年以上放射線業務に精励し、会員として15年以上、本会活動にご協力いただいた方々に送られます。労働精励賞受賞の14名の皆さんをご紹介致します。佐藤 靖高さん、岡本 実音さん、野口 慶三さん、本寺 哲一さん、藤本 達さん、木川 友美さん、鈴木 雄一さん、桐 洋介さん、岩崎 成行さん、古澤 正樹さん、金子 英利さん、渡邊 真弓さん、横山 博章さん、伊佐

理嘉さん、です。14名を代表して 佐藤 靖高さん、前方へお願ひします。

【賞状授与】おめでとうございました。



続いて本会表彰規程第3条第2項第4号により奨励賞の表彰を行います。新人奨励賞の3名を紹介致します。お一人目は、演題名「ポータルサイトを活用した新人教育プログラムの再構築」

日本大学医学部附属板橋病院 褐塚 俊和さんです。お二人目は、演題名「撮影法および再構成法による小児頭部 CT撮影の被ばく線量低減可能性の検討」東邦大学医療センター大橋病院 佐藤 野々花さんです。三人目は、演題名「70kVおよびdeep learning応用画像再構成を用いた低リスク新生児CT撮影の検討」慶應義塾大学病院 安楽 敬介さんです。お三方、前方へお願ひします。

【賞状授与】おめでとうございました。



各賞受賞の皆さん、おめでとうございました。総会終了後に、記念撮影を行います。受賞された皆さんには、ご着席のままお待ち下さい。以上となります。

鈴木総務委員長：それでは、本総会の総会運営委員をご紹介致します。総会運営委員は総会運営規程により各支部から選出されております。総会運営委員として、宮谷勝巳さん、森 飛翔さん、原島 大佑さん、伊佐 理嘉さん、吉村 良さん、以上5名です。総会運営委員長は、伊佐 理嘉（いさ まさよし）さんです。よろしくお願ひ致します。



伊佐総会運営委員長：本会の代議員数は、退会、転出等の関係もあり、現在83名です。総会成立代議員数は本会定款21条により、全代議員の過半数の出席者数42名、以上であります。現時点での代議員の出席状況および、書面表決出席状況をご説明致します。総会出席者数45名、委任状数32名、うち、有効数 31名、合計76名です。従いまして、この第78回定期総会は成立することをご報告致します。総会運営委員会委員長伊佐理嘉。

鈴木総務委員長： それでは、本総会の議長を選出したいと存じます。会場より、立候補の方、いらっしゃいますか。はい、ありがとうございます。立候補された方、お名前をお願いします。

議長立候補者：第4地区の上田万珠代です。よろしくお願いします。第5地区の北野りえです。よろしくお願いします。

鈴木総務委員長：代議員の皆さん、異議はございますでしょうか？ なければ拍手をもってご承認をよろしくお願い致します。【会場より拍手】 それでは議長よろしくお願い致します。

上田議長：本日の議事録署名人は議長の上田、北野と、全出席理事、監事となります。今回の総会の報告事項 2025年度事業計画、2025年度予算案を、私上田が担当し、第1号議案 2024年度事業報告（案）、第2号議案 2024年度決算（案）、監査報告、第3号議案 役員報酬規程改正を、北野議長に担当していただきます。

はじめに、議事に入ります前に、総会職員の任命についてお詫び致します。総会職員は浅沼芳明さん、稻毛秀一さん、青木淳さん、新川翔太さん、村山嘉隆さん、以上5名となります。ご承認をお願いします。

次に、総会の運営について総会運営委員会報告を、伊佐委員長よりお願いします。

伊佐総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。只今の時刻は14時20分です。これより、報告1「2025年度事業計画」、報告2「2025年度予算」、第1号議案「2024年度事業報告（案）」、第2号議案「2024年度決

算報告（案）、監査報告、第3号議案「役員報酬規程改正」以上、報告から第3号議案までを15時30分までにご審議をお願いします。代議員の皆さま方の活発なるご意見とご協力をお願いします。総会運営委員会委員長伊佐理嘉。



伊佐總会運営委員長

上田議長：只今の総会運営委員長の報告について、異議はございませんでしょうか。

異議が無いようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。

それでは、報告、2025年度事業計画についてご説明をお願いします。

江田会長：会長の江田より報告させていただきます。2025年度事業計画総括、公益社団法人として、診療放射線技術の発展と医療の安全・安心の提供を使命とする本会は、2025年度においても、以下の重点項目に基づき事業活動を推進してまいります。本計画は、都民の健康と福祉への貢献と診療放射線技師の技術向上をめざし、透明性のある活動を通じてさらなる信頼を築くことを目的に事業を展開します。

2025年度は「告示研修」開催の最終年度となります。本会は、日本診療放射線技師会と連携し、研修会を円滑に実施するとともに、多くの診療放射線技師が受講できる環境を提供します。特に、首都東京という地の利を活かし、全国からの参加者を受け入れる体制を整え、医療安全と技術向上を目的とした研修の質を高めてまいります。

地区委員会を中心に、地域の特性を反映した新たな活動企画を推進します。昨年度に続き、地区委員会へのヒアリングを通じて意見を収集し、会長・副会長が各地区的活動に直接参加することで地区間の連携を強化します。これにより、地域レベルでの活性化を図り、会員一人ひとりの主体的な参画を促進します。

放射線被ばくに関する質問や相談対応は、公益事業の柱として継続的に実施します。2025年度は、ホームページに掲載されている「検査時によくある質問」の見直しを行い、より分かりやすく充実した情報を都民に提供します。これにより、医療の透明性を高め、安心を届ける

環境を構築してまいります。

入会促進委員会を中心に、本会が目標とする会員数3,000名達成に向けて、さらなる広報活動を展開します。本会が開催する研修会会場や養成する大学などへのフライヤー発送などを積極的に行い、本会の魅力を広く発信していきます。

2026年度に開催が予定されている東京支部との合同学術大会に向け、学術委員会および執行役員を中心に実行委員会を設置します。具体的な企画立案や運営計画を進め、成功に向けて準備を進めます。

2024年度に交流を再開したソウル市特別市放射線士会（SRTA）との関係を継続します。2025年度に横浜市で開催される関東甲信越診療放射線技師学術大会にSRTAを招聘し、学術交流を推進します。また、初めて英語で発表を行う会員にとっての登竜門としての取り組みを継続し、国際的な視野を広げる環境を整備します。

都民に対する放射線検査や医療に関する知識の提供を、市民公開講座やホームページを通じて積極的に行います。また、都内で開催される各種イベントに参加し、診療放射線技師資格の普及、放射線被ばく相談、乳がん触診、骨密度測定など、健康支援活動を幅広く展開します。

本会事業の目的と背景を会員全員に共有し、次世代を担う人材の育成と事業の継続的な発展を目指します。長年培ってきた本会の事業活動を次世代へ引き継ぎ、さらなるイノベーションを実現します。

以下に、2025年度の主な事業計画案を挙げます。1.告示研修開催に向けての環境作り。2.地区活動の活性化を目的とした取り組み。3.放射線相談委員会と状況を共有し、HPに新しいFAQの掲載。4.入会促進を推進するための広報活動を積極的に実施する。5.2026年度開催の公益社団法人日本放射線技術学会東京支部との合同学術大会実行委員会を設置する。6.国際学術大会参加支援と交流促進。7.公益社団法人として公益事業の拡大を図る。8.事業活動全般における「継続と継承」を目的に人材育成を図る。



江田会長

本会は、これらの事業計画を着実に実行し、診療放射線技術の進歩と医療の安全性向上を図るとともに、都民の信頼に応える公益法人としての責務を果たしてまいります。役員および会員の皆さまには、本計画へのご理解とご協力を賜り、ともに本会の未来を築いていくことを心よりお願い申し上げます。

以上、総括でございます。

上田議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願いします。また、所属地区、氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。

それでは、報告、2025年度予算案についてご説明をお願いします。

石田経理委員長：経理を担当しております、石田です、よろしくお願い致します。令和7年度、予算案の説明をさせていただきます。会誌6月号、29ページ、30ページに掲載しております。事業計画にもありましたように、例年どおりの事業開催を想定した予算となっております。予算作成は2024年度内であり、決算報告が出る前ですので、2023年度決算報告を参考にしております。



受取会費については、会費減額を延長し、新入会員は、無料とした影響がありますが、2年目以降の会員数増加に伴う効果があるものと思われます。また、前年度の会員数を参考にして算出しておりますが、過年度の会費入金は、予算においては加味しないなど、やや保守的に見積もりしたため、正会員受取会費2,600万円、賛助会員受取会費10万円を計上致しました。また、同様に、研修会事業収益60万円を計上致しました。したがいまして、経常収益合計は、3,096万7,000円となります。

経常費用は、事業費と管理費とに大きくわかれています。事業費は、技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。会議費については、対面による事業、会議の増加に伴い、2023年度決算実績より増額し、通信雑費の見直しによる影響を考慮して、事業費、管理費を合わ

せて、480万円としております。旅費交通費については、会議、研修会、総会などの開催により、事業費、管理費を合わせて、150万円としております。消耗品費については、現在の世情を鑑みて、Webによる会議、e-ラーニングを含む研修会のWeb設備の充実、感染症対策の強化をしていくためのものです。印刷製本費については、会誌の発行部数により流動しますが、会員増加に伴い事業費、管理費を合わせて1,030万円としております。通信運搬費についても、会誌の発行部数により流動しますが、事業費、管理費を合わせて、255万円としております。修繕費については、値上げの影響もあり、事業費、管理費を合わせて、62万2,000円としております。諸謝金については、2023年度実績より増額致しましたが、研修会開催については流動性の大きいところであります。事業費として、95万円としております。その他の科目については資料をご確認ください。

事業費と管理費を合わせまして、経常費用合計は、3,096万7,000円となります。また、予算案は、地区委員会にて供覧いただき、理事会の承認を得て、3月31日までに作成して、東京都へ提出済みであります。以上、ご報告致します。

上田議長：ありがとうございました。これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はその場で挙手をお願いします。マイクが来ましたら、所属地区、氏名を述べてから、発言お願いします。質問に対しては執行部より回答致します。

報告事項は以上で終了させていただきます。

北野議長：これより議案の審議を進めますが、その進め方についてお諮り致します。議案ごとに説明を行い、質疑を実施し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。

異議がないようですので、議事に入ります。それでは、これより第1号議案、2024年度事業報告案についてご説明をお願いします。

江田会長：第1号議案、2024年度事業報告案についてご説明させていただきます。

2024年度は、新型コロナウイルスの影響が落ち着きを見せ、対面による活動が本格的に再開されました。一方で、感染拡大時に導入したWeb会議の利便性も活かし、対面とオンラインのハイブリッド体制が確立され、本会の事業運営に柔軟性と効率性が加わりました。

会員数拡大に向けた取り組みも着実に成果を上げ、2022年度の臨時総会で決定された初入会者の会費無料

および会員の会費減額制度は2年間実施され、会員数は着実に増加しました。収支も安定しており、この好循環をさらに推進するため、2025年2月の臨時総会で制度の2年間延長が決定されました。この流れを継続できれば、目標である会員3000名の達成も現実味を帯びてきています。

国際交流活動も活発に展開しました。学術交流協定を結ぶソウル特別市放射線士会との連携により、本会から2名の会員が韓国の学術大会に参加し、2演題を発表。質疑応答を通して、海外との実りある学術的対話を実現し、国際舞台への挑戦が身近なものとなっています。

また、「チーム医療」の推進を目的に、1月には一橋講堂にて第19回ペイシェントケア学術大会を開催。「これからのお未来」をテーマに、各地区から19演題が発表されるなど、地域の力が結集されました。放射線相談委員会および災害対策委員会による基調・特別講演も行われ、実務に直結した知見が共有されました。都民公開講座では、人気ドラマ「ラジエーションハウス」の企画者・五月女先生をお招きし、熱意や志の重要性を多くの会員が再認識する場になったと感じます。

教育・研修事業も精力的に実施され、告示研修は12回開催され553名が修了、統一講習会も23名が修了しました。学術セミナーでは「画像ノミカタシリーズ」を頭部・体幹部編と連続開催し、またAIの臨床応用をテーマにしたセミナーを日本放射線技術学会東京支部と共催するなど、時代に即した内容での学術的深化を図りました。さらに、若手技師育成を目的とした「フレッシャーズセミナー」には101名が参加。実技を重視した生涯教育として、X線撮影ポジショニングやCT造影理論、タスク・シフト/シェアの実践的報告など、現場に直結した内容で多くの参加者を迎えるました。

災害対策委員会は「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させないために～」をテーマに、原発災害を想定した実技中心の研修を展開。また、地球環境保全活動として「中央区クリーンデー」や「荒川クリーンエイド2024」へのボランティア参加も行い、社会貢献活動としての存在感も高まりました。

放射線に関する広報活動としては、東京都看護協会主催行事や都内健康フェスティバルへ出展し、診療放射線技師の役割と価値を広く発信しました。さらに、各地区・支部においても、本会の方針に沿った研修会が数多く開催され、地域ごとの活動が一層活性化しています。

このように、2024年度は本会の多角的な取り組みが相互に連動し、活気と成果に満ちた一年となりました。

皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げるとともに、2025年度も、都民・国民・そして会員の皆さまのために、さらに力強く事業を推進してまいります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。以上、報告となります。

北野議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言の方はその場で挙手をお願いします。マイクが届きましたら、所属地区、氏名を述べてから、発言お願いします。質問に対しては執行部より回答致します。

第14地区高林代議員：14地区の高林正人です。6月号の48ページの活動報告に付随していることですが、再入会した場合というのは、15ページの新入会無料キャンペーンに入るのでしょうか。一回やめて再入会した場合はこれの適用になるか教えていただけたとありがたいです。

野口副会長：再入会は再入会になり再入会費を取ります。

第14地区高林代議員：再入会費はいくらですか。

野口副会長：1万4,000円です。

第14地区高林代議員：それはキャンペーンには入らないのですか。8年度以降切れて、もしそういうことができるような予算立てがあるならば、望んでいる人がいるかどうかという、微妙なところがあると思うんですけど。

江田会長：ご質問ありがとうございます。再入会に関してはやはり今回はこのキャンペーンの中に含まれておりません。また再入会も含めたらどうだというお話もありますが、それを今後また検討してまいりたいと思いますが、改めて技師会というものを理解していただきたい。何も経験のない方をターゲットにしておりますので、そこをご理解いただけたとありがたいかなと思います。今いたいたことも含めてまた検討してまいりたいと思います。

第13地区菊地代議員：13地区の菊地悟といいます。勉強会の参加人数に関して、現地で参加した場合はおそらく会員・非会員というのは把握されると思うのですが、ウェブでやった場合は会員と非会員で分けて書いてありますが、それをどうやって判断されて記入されているか質問です。



第13地区菊地代議員

野口副会長：ウェブの場合でも事前申し込みがあるのと、事前申し込み上での会員・非会員が分かれます。

第14地区大塚代議員：14地区の大塚隆人と申します。活動報告のところについて質問があるのですが、2024年度末の会員数が2702名となっておりまして、過去のデータになりますが、12月末の時点で2802名とありました。この3ヶ月、12月から3月末までで100名減少ということがありました。昨年度2023年度もこの同じ3ヶ月間で97名減少したという結果でしたが、この年度末の減少数に関しまして、執行部の皆さまはどうにお考えなのか、ご意見をいただきたいなと思います。



第14地区大塚代議員

江田会長：ご質問ありがとうございます。会員数というのは比例的に弧を描きながら4月に入ると新入会が増えてきて、ピークが大体9月ぐらいになります。それから9月、10月に向かってピークがきて、これが徐々に今度は下がってきます。したがって大体12月の数、年度末に向かっての数値というのは下がる傾向にあります。これは今回だけではなく全国的にもそうであって、またJARTの方でもずっと見るとそういう形があります。この描き方を見ながら今我々入会促進委員会も含めて、事業の展開というところで魅力ある活動を年度末に迎えていくというところもあるのかなということを審議しながら色々やっているところではあるのですが、なかなかうまくいかないところもあります。

ただ事業報告というか活動報告の中にも記載しておりますように会員数は着々と伸びております。JARTの理事会の報告であると東京都約145名、3月末で145名の促進がありました。これだけの入会は魅力ある事業活動を展開された証ではないのかなというふうに我々としては考えております。

北野議長：ほかにございませんか。それでは本件について採決を行います。採決係のみなさん準備お願いします。

反対の方、挙手をお願いします。保留の方、挙手をお願いします。賛成の方、挙手をお願いします。

結果、賛成多数にて可決されました。

それでは第2号議案の2024年度決算報告案を議題と致します。執行部より報告お願いします。

石田経理委員長：第2号議案の、令和6年度の決算報告をさせていただきます。会誌6月号、49ページから57ページに掲載しております。

前年度はコロナ禍の中で、事業や活動を実施してきましたが、当年度は、コロナ明けの初年度であり、事業報告にありましたように、事業や活動が活発に実施され、コロナ前以上の状況となりました。

まず、49ページ、貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しております。事前に資料を配布しておりますので、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略するものもございます。

固定資産の特定資産に計上している、研修センター拡張等積立資金は、令和3年度に、資産取得資金として、特定資産「研修センター拡張等積立資産」を積立することが承認されております。令和6年度においても、予定される100万円を積み立て計上致しました。これにより、積み立ては前年度と合わせて2,300万円となっております。

また、建物と土地ですが、建物部分について前年度より67万円ほど減少しています。これは、事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものです。建物附属設備、什器備品についても同様に取得金額から経年的に減価償却されたものです。

次に負債の部になります。まず、未払い金1万58円、預り金5,640円については、3月末日までに支払うことができなかったものを、収益ではなく負債として計上しており、4月以降に支払うものです。以上により、当年度末の資産は、8,759万24円となっています。

次に、50、51ページに正味財産増減計算書を示しております。また、その内訳表を52、53ページに示しております。内訳表の右側に、参考のために予算との差異(A - B)を掲載しました。

以下、主に内訳表で予算と差異がある箇所について説明させていただきます。受取会費は、正会員2,312万3,560円と賛助会員17万2,000円となっております。受取会費については、会費を減額し、新入会員は無料とした影響がありますが、今年度からは、会員増加による効果があるものと思われます。

賛助会員会費については、納入時期の違いによる影響であります。

研修会事業収益は、昨年度より多く開催しており、収益としては、71万6,000円となっております。親睦会事業収益では、流動的ではありますが、109万7,000円となっております。広告収益は、176万円となっております。以上により、経常収益は、2,757万8,376円となっております。

次に、経常費用に移りますが、事業費と管理費とに大きく分かれております。事業費は、技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。会議費は、事業費493万8,170円、管理費93万782円となっております。旅費交通費は、事業費239万7,693円、管理費17万1,017円となっております。

会議費および旅費交通費が大きく増加した件について、経理の取り決めにより、どちらにも交通費、通信雑費が含まれておりますが、前年度の理事会承認により、当年度の通信雑費を400円から1,000円に増額致しました。このときに試算した委員会の参加人数は、のべ1500人でしたが、当年度は、およそ2500人を超えております。これは、委員会の開催回数の増加、出席者の増加、対面開催の増加、委員数の増加が挙げられます。また、対面で実施される、研修会、広報イベント、ペイメントケア学術大会などの、事業活動が増加致しました、さらに、関東甲信越診療放射線技師学術大会が、宇都宮市で開催され、学術交流のあるソウルのSRTAを招聘した際の交通費、宿泊費、文化交流などの費用が、物価高騰や資材高騰により増加したものと思われます。このことにより、交通費および通信雑費が増加したものと思われます。

通信運搬費については事業費273万4,134円、管理費20万9,712円となっています。会員数の増加により、会誌発行部数が多くなったこと、昨年より郵送費が改定され、その影響で増加したためと思われます。印刷製本費については、会員数の増加により、事業費1,123万2,605円、管理費17万7,731円となっています。

以上のような内容により、最終的に経常収益は、2,757万8,376円、経常費用が、3,278万4,704円となり、当期経常増減額が、520万6,328円となります。ただし、この金額には、会計基準により計上している減価償却費分が含まれます。減価償却費は、計上されていますが、購入した時に費用を支払っているもので、実際には現金預金の流出を伴わない費用です。この費用を「研修センター拡張等積立資産」の積立と致しました。昨今の時代は、先が見通せない状況ではありますが、経費対効果を見極め、

引き続き効率的な運用に努めてまいります。

以上で決算報告と致します。ご承認よろしくお願ひ致します。

北野議長：それでは2024年度監査報告を致します。監事より報告お願いします。

野田監事：野田でございます。

白木監事：白木でございます。

野田監事：私たち監事は、令和6年4月28日に本会事務所において、2024年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。



野田監事・白木監事

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

白木監事：事業報告等の監査結果については、私白木からご報告致します。

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

また、今年度は事業以外の部分で大変な出来事がありましたが、役員のみなさんは本会や会員のために、適切に献身的に取り組んでおられる様子が伺えました。

野田監事：計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果については、私野田から。

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人

の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、ご報告申し上げます。監事、野田扇三郎。

白木監事：監事、白木尚

北野議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はその場で挙手をお願いします。マイクが届きましたら、所属地区、氏名を述べてから、発言をお願いします。質問に対しては執行部より回答致します。

第13地区菊地代議員：13地区の菊池悟と言います。正味財産増減計算書の中に親睦会事業収益という項目がございます。の親睦会事業収益というのは具体的にどういった事業なのでしょうか。

関副会長：具体的には新春の集いとボーリング大会が含まれます。

第14地区高林代議員：14地区 高林正人です。6月号の54ページに財務諸表に対する注記って書いてあります。が、2の研修センター拡張等積立資産と書いてありますが、これは具体的には現研修センターの近くに購入するのか、または他のところに移転するとか、いろいろあると思うのですが、答えられる範囲で構ないので、答えさせていただきたいです。



第14地区高林代議員

江田会長：この研修センター拡張等積立資産は以前から提案されていると思います。これは先日の期末監査の中でも、監事の先生方からそろそろお金が大きく貯まっているので、約5年後これをやっていかないといけないのです。それを考えて本会としてはそろそろ特別委員会を設置しながら検討していくこうという話で今詰めています。

ただこれもどういうふうに進めていくのか、今の日暮里の事務所はどうするのか。例えばサテライトなんていふ話を以前あったと思いますが、このサテライトも本当に必要なのかどうか。とにかくあそこを拡張するのかそれとも移転するのか、また違う考え方があるのか、こういったことを特別委員会の中で揉んでいただいて、それで皆さんとともに理事会で図りながら、最終的には総会

になるかもしれません、そういう形で進んでいければいいのかなというふうに考えております。

ぜひともこの委員会にはここにいらっしゃる地区の方々全員が代表者を送っていただきながら、地区全部はちょっとニーズが多くなってしまうと思いますが、そういうところで長けた方やアイデアなどを出していただくなと非常にありがたいなと思いますので、ご協力よろしくお願い致します。

第8地区中西代議員：第8地区中西雄一です。会誌49ページの貸借対照表についてお伺いします。

流動資産中の現金預金で、前年度比で540万円弱減っているのですが、これは全体の収入に対して、この法人の資産がこれだけ減っているということでいいですか。



第8地区中西代議員

関副会長：現金預金がこれだけ減っているということです。

第8地区中西代議員：全体の正味財産合計でも520万円ほどマイナスになっているのですが、前年度から今年度に対して500万円以上減るというのは何かしら原因があったのでしょうか。

関副会長：それは石田委員長が述べたとおりです。



第8地区中西代議員：運営に使って減ってきてているということで会員の増加に見合った運営状況じゃないということになりますが、それでもいいのですか。

江田会長：おっしゃる通りで、この金額は大きいです。お金を支出というところで約500万円が出ております。

これは先ほど石田委員長のほうからご説明があったように、まずポイントとしては4つの原因があるかなというふうに分析を我々はしております。

1つはコロナ収束によって活発に事業が展開された、会議回数が非常に多くなったというところでござります。二つ目は会議出席の増加です。先ほどもお話があつたように、一昨年の会議に出席された委員の数が延べ1500名だったのに対し、昨年は約2500名となっております。また先ほどお話したように会議費が400円から1,000円に上がっています。ということはこの時点で100万円以上が支出されているという状況です。

我々はこの数字をきちんとした数字として、今石田委員長、閔副会長に分析をするように、執行部として依頼をしているところです。ただ概算としては今表示できるのは、この2500名で約1000名増えているという現状があるという事実、それが2つ目です。

3つ目は会誌の印刷製本発送費用の値上げというものがあります。先ほど郵送の発送費用が値上げしたという話もありましたが、キタジマというところの印刷会社が約110万円値上げしています。ただ我々が予算化しているのは全てコロナの前の状況で予算化しておりますので、今回の2024年度の決算期を迎えたところの予算額という予算立てはしておりませんでした。当時それはできなかつたので、今現状としてはこういう乖離があり、2024年には活動と出版会社の値上げというところでも乖離が発生している。

そしてもう一つは先ほど私がお話ししましたが、入会促進で約140名増員したというお話をしました。これは本当にここにいらっしゃる皆さま方のご支援、ご協力があってこそその140名という入会促進につながっていると思います。ただ、それと引き換えにこの140名の方々からは入会費というものは取れませんので、約140万円の収益としては見いだせられませんでした。ただその140名の方々はこの事業の中で会誌をお配りしたりしているわけですからそういうところでトータル的に支出してつながっているのだなと、今回改めて我々としてもよく理解できたというところでございます。

ただ、執行部としては今回のこと重く捉えております。改めて会議費の見直しや、また会議運営や会誌発行等のあり方についても再度検討してまいりたいと考えております。

もちろんコロナが明けてようやく本来の事業活動が展開する運びとなっておりますので、我々執行部としては事業の停滞を望んではおりません。本日事業計画では述

べた通り、伝統ある東京都診療放射線議事会の事業が継続し、そして次世代へつなげる、継承できる、そういうところは途絶えてはいけないと思っておりますので、促進しながら事業展開を図ってまいりたいと思っております。

今回事業計画のところでも予算立てしておりますけれども、その辺を含めて今、誠意に我々としては見直しを図りながら、この2025年度を事業展開してまいりたいと思っておりますのでご理解いただければと思います。

第8地区中西代議員：ありがとうございます。ぜひ20年来やっている会誌の発行とかその辺の対応を皆さんにご検討いただければと思います。

江田会長：今おっしゃったように会誌というところは非常に、決算報告から見ても分かるように、支出が非常に大きいところがあります。これをもう少し考えながら、そして会費削減にもつなげていきたいなと考えておりますし、会費を上げるという方向にはいきたくなく、そして入会促進につなげられるようなそういう形で展開していきたいと思います。われわれも一生懸命やっておりますので情報共有しながら展開して参りたいと思いますので、ご理解いただければとおもいます。

北野議長：ほかにございませんか。それでは質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備お願いします。

反対の方、挙手をお願いします。保留の方、挙手をお願いします。賛成の方、挙手をお願いします。

結果、賛成多数にて可決されました。

それでは第3号議案 役員報酬規程改正を議題と致します。執行部より報告お願いします。

江田会長：第3号議案「役員報酬規程改正（案）」をご説明させていただきます。東京都の監査により、非常勤の会員外役員における報酬に関して整理するよう指摘がありました。この度、定款諸規定委員会で検討してまいり、この改正案をご提示する運びとなりました。詳細にご説明させていただきます。

まずは名称の修正になります。現行は役員報酬に関する規定とございますが、こちらは役員報酬規定に名称変更修正しました。そして第2条のところで次の各号に掲げる用語の定義は当該各号に定めるとありますがこちらの方は各号の定めるところによるという事で、文面の修正でございます。第2条の（4）こちらは会員外役員と書いてありますが、非会員役員と文面修正。そして第3条、こちらに関しては第2項の非常勤役員における役員報酬は無報酬とする。これに関しては役員報酬の額は別

表に定める。別表にあるので削除させていただいております。そして5を修正しました。続いて第4条については、公益財団法人の認定等に関する法律というところです。公益財団法人の認定等に関する法律に誤字の修正をさせていただいております。以上が規定の改正の提案でございますご審議の方よろしくお願ひします

北野議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はその場で挙手をお願いします。マイクが届きましたら、所属地区、氏名を述べてから、発言をお願いします。質問に対しては執行部より回答致します。

第14地区高林代議員：14地区の高林です。ここに書かれている非会員役員とか、常勤役員という方は現在いるのでしょうか。いれば教えていただきたいなと思います。

江田会長：常勤している役員はおりません。

北野議長：ほかにございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備お願ひします。

反対の方、挙手をお願いします。保留の方、挙手をお願いします。賛成の方、挙手をお願いします。

ありがとうございます。それでは第1号議案、第2号議案、第3号議案の採決結果の報告を伊佐総会運営委員長お願ひします。

伊佐総会運営委員長：それでは先ほど行われました第1号議案の採決の結果を報告致します。有効投票数74票、反対0票、保留0票、賛成73票でした。第2号議案の採決の結果を報告致します。有効投票数74票、反対0票、保留0票、賛成73票でした。第3号議案の採決の結果を報告致します。有効投票数74票、反対0票、保留0票、賛成73票でした。以上です。

北野議長：結果、賛成多数にて可決されました。

以上をもちまして、第78回定期総会の議事を終了させていただきます。

只今をもって議長を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

鈴木総務委員長：上田議長、北野議長、総会運営委員会伊佐委員長、ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。

以上で本日の全日程が終了致しました。野口副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。

野口副会長：本日は総会にお集まりいただきましてありがとうございました。本会の最高意志決定機関の総会ですので皆さんこんなに集まつていただきうれしく思います。先ほど会長が申しましたが6ページにある事業計画の中段より下に8項目の主な事業計画案が提示してあり

ます。これをひとつひとつ邁進していく形で進めていますので、今後とも皆さんのご理解を得ながら進めていきます。何卒よろしくお願ひ致します。

ひとつ、公益法人法が改定になります。正式には公益社団法人および公益財団法人認定等に関する法律の一部改定する法律があるのですが、ガバナンスの充実、透明性向上で外部理事を入れる形にしなさいと国からの要望が出てきました。今年の4月改正なのですが、申し訳ないのですが年度内にもう一度臨時総会という形で定款を変えないと外部理事を入れられない状況で、日程等はまだ決まっていないのですが年内と思ってますが、臨時総会を進めていこうと思っていますので、ご意見いただきたいと思っています。



経費の方が先ほど質問にもありました、上がってます。そこも踏まえて総会の資料等を今は郵送で皆さん所に届くようにしてますが、経費節減を踏まえてメールとかダウンロードとかというも検討していきますので何卒ご理解の方をいただきたいと思っております。本日はお集まりいただきましてありがとうございました。

鈴木総務委員長：以上をもちまして、第78回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を終了致します。皆さま、お疲れさまでした。

2024年度 表彰 受賞者

【功労賞】

第8地区	中西 雄一	NTT東日本 関東病院
第15地区	原子 満	平塚整形外科整形外科リウマチ科

【小野賞】

学術委員会	寺嶋 元一	東京臨海病院
教育委員会	宮下 麻依	医療法人社団 総生会 麻生総合病院
第4地区	三上 徹	東京都済生会中央病院
第5地区	中田 健太	東京大学医学部附属病院
第9地区	飯塚 雅子	精神医学研究所附属 東京武蔵野病院
第10地区	小西 智誠	(株)パラメディカル
第13地区	上利 武生	さんあい介護医療院
第14地区	齋藤 晴美	日本医科大学千葉北総病院

【労働精励賞】

第13地区	佐藤 靖高	公立福生病院
第1地区	岡本 実音	社会福祉法人 三井記念病院
第2地区	野口 慶三	東京浅草キュアメディクス
第8地区	本寺 哲一	昭和医科大学病院
第13地区	藤本 達	立川相互病院
第10地区	木川 友美	杏林大学付属杉並病院
第5地区	鈴木 雄一	東京大学医学部附属病院
第10地区	桐 洋介	順天堂大学医学部附属練馬病院
第13地区	岩崎 成行	医療法人社団 飯野病院
第12地区	古澤 正樹	国立病院機構 東京病院
第13地区	金子 英利	東京都立多摩南部地域病院
第4地区	渡邊 真弓	赤坂山王メディカルセンター
第12地区	横山 博章	花小金井千賀整形外科
第6地区	伊佐 理嘉	博慈会記念総合病院

【新人奨励賞】

袴塚 俊和	日本大学医学部附属板橋病院
佐藤野々花	東邦大学医療センター大橋病院
安楽 敬介	慶應義塾大学病院



功労賞



小野賞



労働精励賞



新人奨励賞

第26回 表面型大腸腫瘍④

～側方発育型大腸腫瘍 (laterally spreading tumor:LST)について～

東京労働者医療会 東葛病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法、番外編として硫酸バリウム製剤について、そして臨床画像・臨床症例について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

LSTについて

側方発育型大腸腫瘍 (LST) について、大事な部分を再度おさらいします。

側方発育型大腸腫瘍 (LST) は、顆粒・結節を形成する表面顆粒結節状の顆粒型 (granular type : LST-G) と顆粒・結節を形成せず表面平滑で極めて丈の低い側方進展を呈する非顆粒型 (non-granular type : LST-NG) に大別されます。前者は、表面顆粒結節状を呈し個々の顆粒の大きさが大小不同なくほぼ均一に揃っている顆粒均一型 [homogeneous type : LST-G-H] と、表面顆粒結節状を呈し結節顆粒の大小不同により粗大結節や小結節など不均一な結節または顆粒からなる結節混在型 [nodular mixed type : LST-G-M] に、後者は、表面平滑で顆粒を有さない平坦隆起型 [flat-elevated type : LST-NG-F] (※表面の溝を顆粒と誤認識しないよう注意する必要がある。) と、全周性の陥凹局面を有さずなだらかな盆状陥凹あるいは全周の追えない不完全な陥凹を有する偽陥凹型 [pseudo-depressed type : LST-NG-PD] に細分類されます。(図1)

●顆粒型 (granular type : LST-G)

- ・顆粒均一型 (homogeneous type : LST-G-H)
- ・結節混在型 (nodular mixed type : LST-G-M)

●非顆粒型 (non-granular type : LST-NG)

- ・平坦隆起型 (flat elevated type : LST-NG-F)
- ・偽陥凹型 (pseudo-depressed type : LST-NG-PD)

図1

LST亜分類とその肉眼形態的特徴についてはしっかり理解しておく必要があります。(図2)

LSTの担癌率・SM浸潤率については、LST-G-MとLST-NG-PDは他に比べ担癌率・SM浸潤率が高いといわれており、特にLST-NG-PDではSM癌率が最も高く、腫瘍径が小さいうちからSM浸潤を呈し、20mm未満でも約17%、20mm以上では50%以上がSM癌で、形態的にもSM浸潤傾向からも陥凹型腫瘍に類似しており、LSTの中では悪性度が極めて高い腫瘍群です。(図3・4)

LSTの亜分類と従来からの「大腸癌取扱い規約」

による肉眼型分類との対応に関しては、LST-G-Hが0-IIa、LST-G-Mが0-IIa・0-I s+IIa・0-IIa+I s、LST-NG-Fが0-IIa、LST-NG-PDが0-IIa+IIc・0-IIc+IIaにそれぞれ対応します。(図5)

これらの形態的分類は、それを混同することなくしっかりと区別して、対比的に正しく理解することが非常に重要です。

今回は、LSTにおける空気量の調節にて病変を描出するテクニックについて、症例を提示しながらお話しさせていただきます。

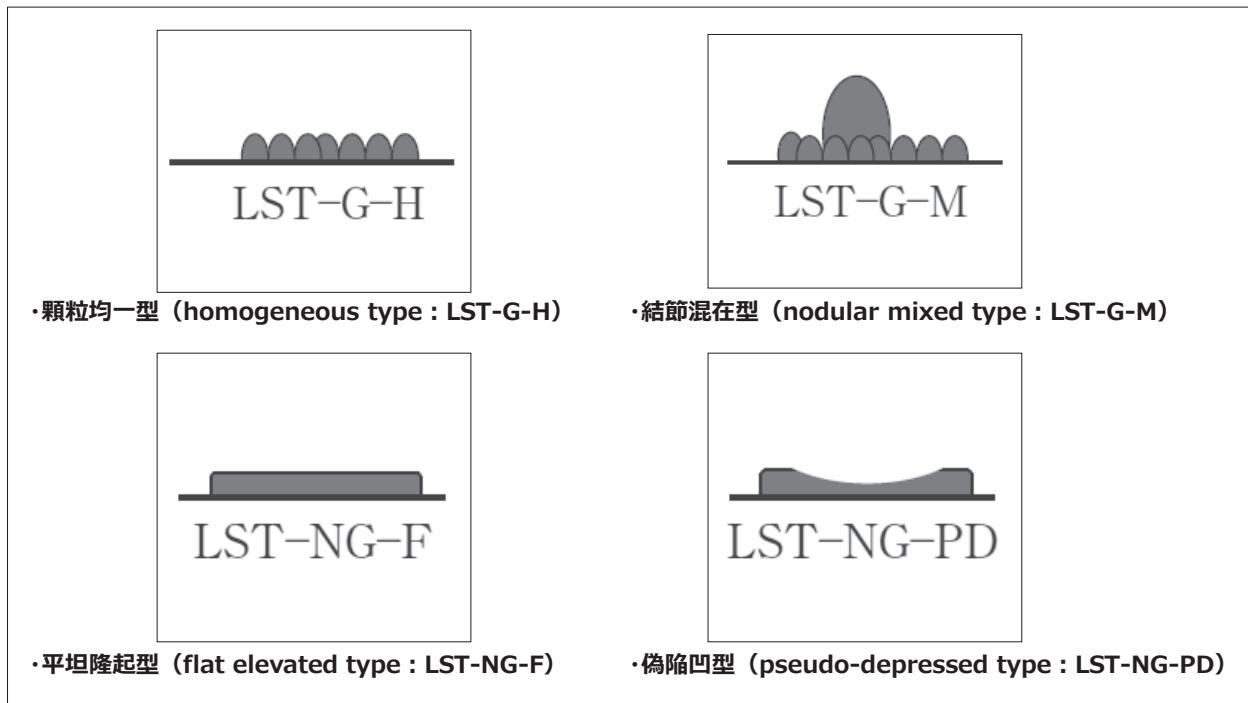


図2

○LST亜分類別・腫瘍径別担癌率				
亜分類	腫瘍径(mm)			計
	10~19	20~29	30~	
<i>granular type</i>				
LST-G-H	22.6% (35/155)	34.1% (43/126)	25.5% (40/157)	26.9% (118/438)
LST-G-M	41.8% (23/55)	52.7% (58/110)	62.0% (152/245)	56.8% (233/410)
<i>non-granular type</i>				
LST-NG-F	29.5% (128/434)	41.9% (112/267)	51.7% (46/89)	36.2% (286/790)
LST-NG-PD	66.7% (20/30)	81.8% (18/22)	100% (4/4)	75.0% (42/56)

図3

亜分類	腫瘍径(mm)			計
	10~19	20~29	30~	
granular type				
LST-G-H	0% (0/155)	0.8% (1/126)	1.3% (2/157)	0.7% (3/438)
LST-G-M	5.5% (3/ 55)	10.9% (12/110)	15.9% (39/245)	13.2% (54/410)
non-granular type				
LST-NG-F	4.8% (21/434)	7.5% (20/267)	13.5% (12/ 89)	6.7% (53/790)
LST-NG-PD	16.7% (5/ 30)	50.0% (11/ 22)	100% (4/ 4)	35.7% (20/ 56)

図4

○LST亜分類別・腫瘍径別SM浸潤癌率	
★subtype of LST	★classification in type0
LST granular (LST-G)	
homogenous type (LST-G-H)	0-II a
nodular mixed type (LST-G-M)	0-II a, 0-I s+II a, 0-II a+I s
LST non-granular (LST-NG)	
flat elevated type (LST-NG-F)	0-II a
pseudo-depressed type (LST-NG-PD)	0-II a+II c, 0-II c+II a

図5

症例 1

背臥位の二重造影にてルーチン撮影された画像を表示します。(図6)

病変は横行結腸背側の○で囲われた部分に存在しますが、病変として認識するのは困難です。同部位を圧迫筒にて圧迫を加えた二重造影で撮影された画像では、ヒダ上にバリウムをはじく透亮像として病変を認識することができます。(図7)

基本的には圧迫を活用して病変を描出していきますが、もう一つのテクニックとして空気量を変化させる方法があります。具体的には、通常の二重造影法の十分に拡張した状態から、空気量を少量に抜いていきます。そうすることで病変がより認識しやすくなることがあります。(図8)

それらを対比した画像を見てみると、その病変

の存在と形態的な特徴が詳細に描出されていることがわかります。(図9)

病変の形、表面の性状、周囲の性状等を良く観察することができます。

病変の形はヒイラギ様で、表面性状は明らかな陥凹を認めず、顆粒模様も目立たず平滑な表面形態と判断することができます。周囲の粘膜の引きつれやヒダ集中も認めません。注腸X線画像よりLSTの平坦隆起型 [flat-elevated type : LST-NG-F] と判断することができます。

病理組織含めた最終結果は以下の通りでした。

LST-non-granular type-flat elevated type (LST-NG-F)

肉眼型 : 0-II a

発育形態分類 : LST-NG-F

病理診断 : Well differentiated tubular adenocarcinoma. Depth: pM Size: 30mm



図6

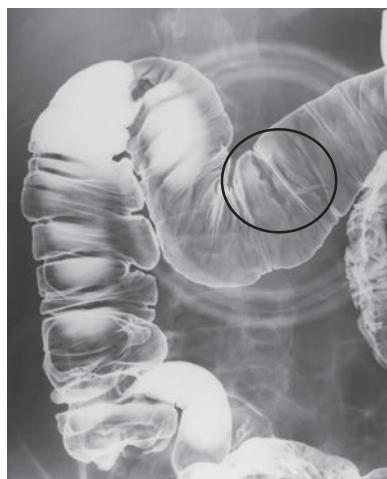


図7



図8

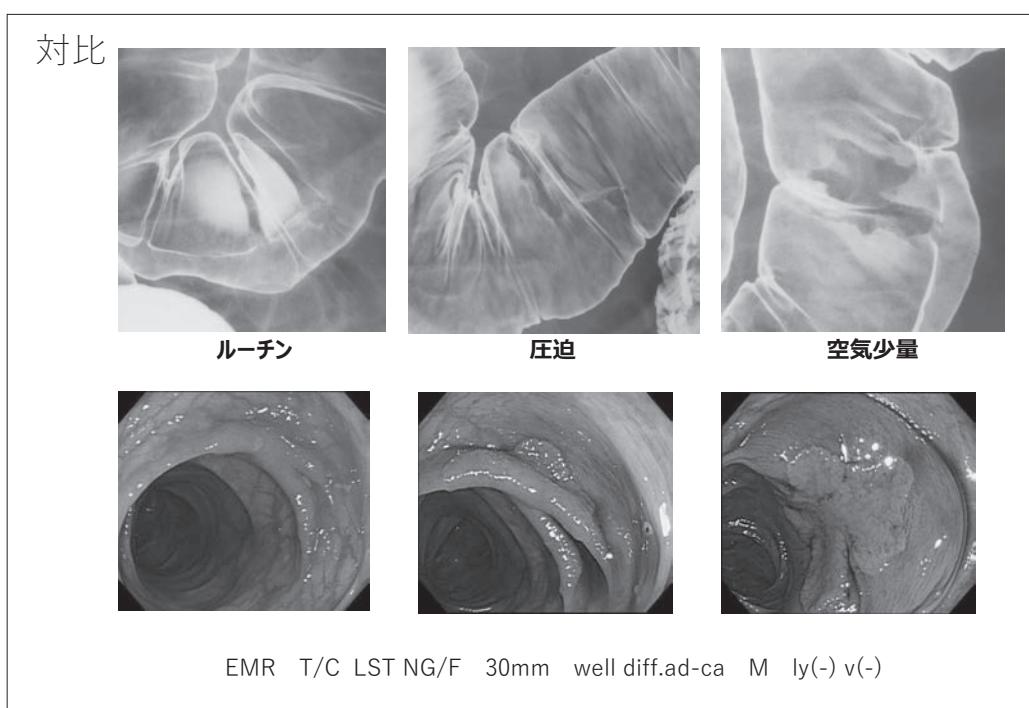


図9

症例2

S状結腸を中心に撮影された背臥位の二重造影像の画像を呈示します。(図10)

病変は○で囲われた部分に存在しますが、病変として認識するのは困難です。

症例1と同様に圧迫筒にて圧迫を加えながらバリウムを漂わせ撮影すると徐々に病変を認識することができます。そして空気量を少なくして撮影された画像にて病変の詳細をよく観察することができます。(図11)



図10

ルーチンで撮影されたS状結腸の背臥位二重造影像と空気少量に調整された圧迫二重造影漂流像を比べてみると、この方法の有用性を理解することができます。(図12)

病変の形は地図状で、微細分葉を呈した切れ込みのある辺縁境界。表面性状は明らかな陥凹を認めず、顆粒模様もあまり目立たず、比較的平滑で溝状構造の表面形態と判断することができます。周囲の粘膜の引きつれやヒダ集中も認めません。

注腸X線画像よりLSTの平坦隆起型〔flat-

elevated type : LST-NG-F〕と判断することができます。(図13)

病理組織含めた最終結果は以下の通りでした。

LST-non-granular type-flat elevated type (LST-NG-F)

肉眼型 : 0-IIa

発育形態分類 : LST-NG-F

病理診断 : Well differentiated tubular adenocarcinoma. Depth: pM Size: 33×22 mm

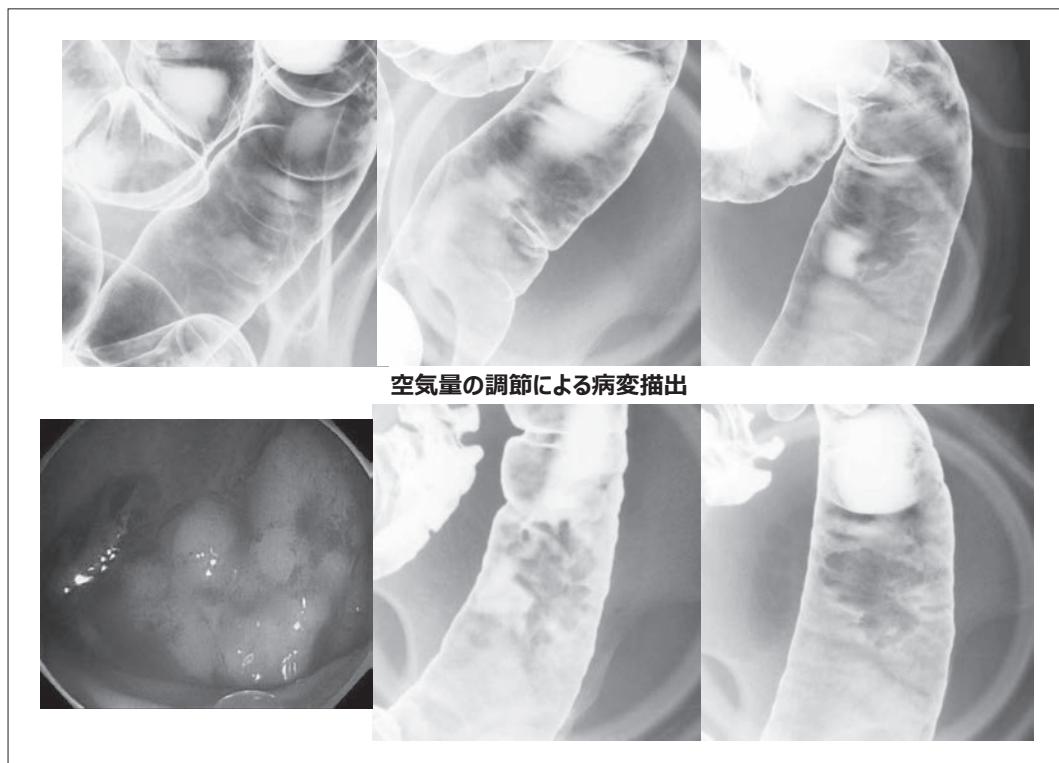


図11

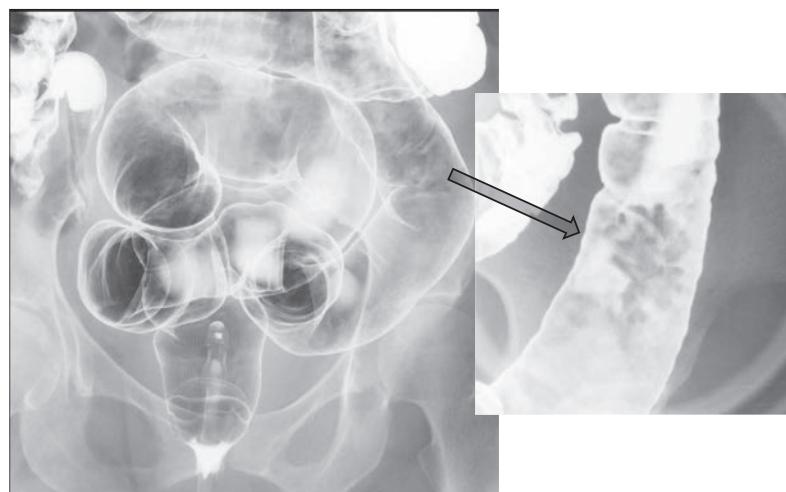


図12

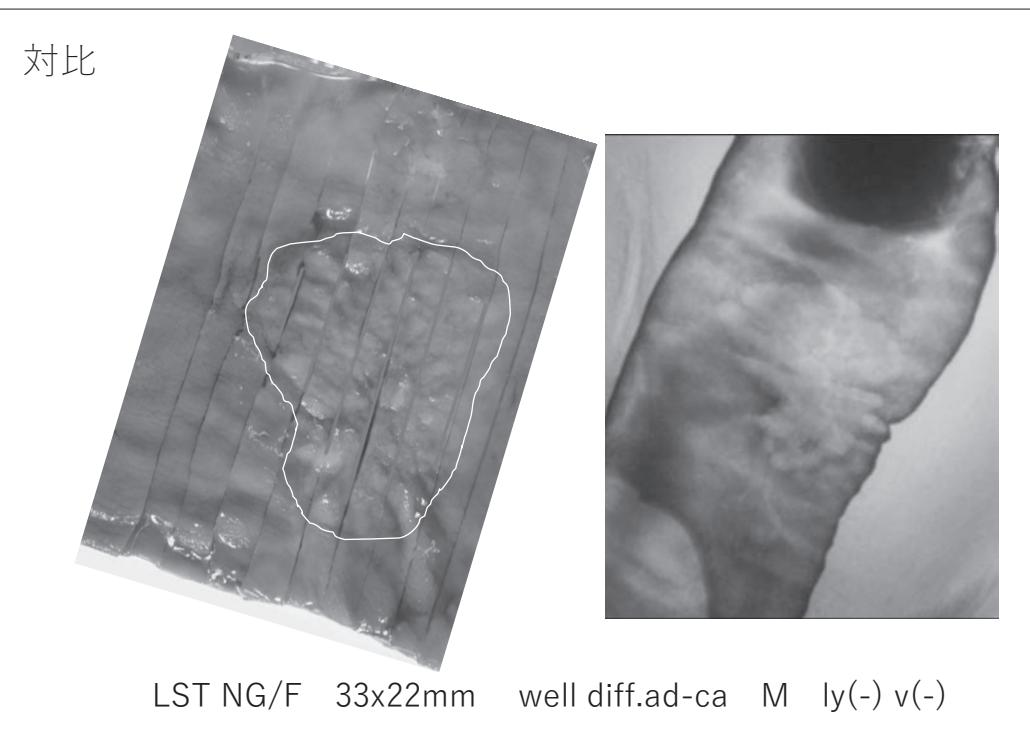


図13

おわりに

今回は大腸表面型腫瘍における側方発育型大腸腫瘍 (laterally spreading tumor : LST) の非顆粒型の平坦隆起型 (non-granular type-flat elevated type (LST-NG-F)) について症例を提示しながら、描出法・撮影法についてお話しさせていただきました。

LST亜分類の中でも、非顆粒型の平坦隆起型 (LST-NG-F) は、データでもお示しした通り、担癌率・SM浸潤率が共に低い傾向にあります。

一方で、肉眼形態的な異形に乏しく、画像所見が軽微であり、他の亜分類と比較して、病変を詳細に描出することが難しいのが特徴です。そうし

た中で、撮影テクニックの1つのオプションとして、腸管の伸展性を変化させる、具体的には空気量の調節・空気量を少量にして撮影する方法が挙げられます。注腸X線検査にて病変を撮影する際に、腸管の伸展性を変化させる、空気量を少量にしつつ、その病変に適した二重造影像を撮影するテクニックは、非常に高度な技術だと思われます。

この方法は、JCHO埼玉メディカルセンター放射線技術部技師長の奥田圭二先生に症例を通してご教授いただきました。あらためてこの場をお借りしまして深謝申し上げます。

次回からは、大腸の表面陥凹型・IIc病変（表面隆起陥凹型 IIa+IIc病変）についてお話しさせていただきます。

日本診療放射線技師連盟 2025 No. 7 ニュース (通巻No.111)

連盟活動報告

発行日 令和7年7月22日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒381-0812
埼玉県さいたま市北区宮原2-51-39
TEL.048-664-2728 FAX.03-6740-1913

- ① 6月30日(月) JFRT主催 第14回定例勉強会開催
- ② 7月 2日(水) あぜもとを励ます会(滋賀県・京都府web)
- ③ 7月 3日(木) あぜもと候補出陣式
- ④ 7月 6日(日) あぜもと決起集会 in 神奈川
- ⑤ 7月 8日(火) あぜもと決起集会(岡山県web)
- ⑥ 7月 9日(水) あぜもと決起集会(徳島県・愛媛県・高知県 web)
- ⑦ 7月 9日(水) あぜもと決起集会(石川県 web)
- ⑧ 7月 9日(水) あぜもと決起集会(島根県・鳥取県 web)
- ⑨ 7月10日(木) あぜもと決起集会 in 東京
- ⑩ 7月14日(月) JFRT主催 第15回定例勉強会開催
- ⑪ 7月15日(火) JFRT主催 第16回定例勉強会開催
- ⑫ 7月19日(土) あぜもと候補マイク納め
- ⑬ 7月20日(日) 参議院選挙投開票スペシャル



JFRT 日本診療放射線技師連盟

当連盟入会ならびに年会費支払い

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も隨時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟



News

10月号

会長挨拶

本日もご多忙の中理事会にご参集いただき、誠にありがとうございました。私と野口副会長はJARTの事務所から参加させていただいている。本日もよろしくお願いする。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・6月19日に日本医療科学大学において例年同様、特別講義を行った。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・Zoom契約状況

東京都診療放射線技師会では、Zoomを3契約（本部用・支部用・専門部用）している。

支部・専門部は「Zoomプロ（100人まで）」、本部は「Zoomプロ+ウェビナー500人」を契約。以前は「ラージミーティング（500人）」も契約していたが、ウェビ

日 時：2025年7月3日（木）

19時00分～20時15分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、今尾 仁、渡辺靖志、鮎川幸司、関谷 薫、島田 諭、布川嘉信、大津元春

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、長谷川浩章（第14地区委員長）、宮下麻依（第15地区委員長）、桐 洋介（国際委員長）、中尾 愛（入会促進委員長）、岩井譜憲（編集委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：浅沼雅康（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

ナー500人と重複するため、ラージミーティング契約を廃止し経費削減を実施。

- ・Zoom プロ：33,000円（支部・専門部・本部それぞれ）
- ・ウェビナー：151,800円（本部）
- ・年間合計：約250,000円

500人規模のウェビナーは本部で一括管理し、支部や地区で100人を超える場合は本部に相談の上、対応する。貸し出しではなく、本部側でアドレスを作成・オープンする形で運用。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

・日本診療放射線技師会第88回定時総会への出席記載について相談があった。江田会長より、「総会・理事会等の大きな会議については、東京都推薦の全国理事として活動しているため記載してもよい」との見解が示され、今後も同様の方針で進めることが合意された。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・今回は特になかった。

議 事

1) 事業申請

①親睦BBQ大会

日 時：2025年9月28日(日) 11:00～14:00

場 所：池袋 楽園タウンの庭

・会費は5,500円、募集開始は9月号からホームページにも掲載予定。天候については「屋根付きのため、よほど荒天でなければ実施可能」との説明。従来の地区対抗ボウリング大会から、地区の交流を深める目的でBBQ大会に変更。家族参加も検討されたが、人数把握が難しいため今回は会員・非会員のみ対象。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

②第163回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：放射線相談委員会共同企画

- 放射線相談の基本の「き」-

日 時：2025年11月14日(金) 18:30～20:00

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

HPの締め切りは、2025年11月13日(木)に変更する。

③第3地区研修会

テーマ：学ぼう！腎・副腎疾患

- 各モダリティのアプローチ -

日 時：2025年11月28日(金) 19:00～20:30

場 所：東京医科大学病院 第一研究教育棟3階第一講堂

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

・参加申込・受付方法の運用方針と案内文言について
事前申込制を基本としつつ、当日参加も可能とする運用が過去に行われていた。

コロナ禍で当日参加受付が一時的に消滅したが、反対意見があったわけではない。

参加人数の把握や会場設営のため、できるだけ事前登録を促す方針。

案内文言については、過去の事例を参考にしつつ、簡潔な表現でまとめる方針で合意。

案内文の定型化についても今後の課題として認識。

参加者が混乱しないよう、締切日や受付方法を統一・明確化する必要性が指摘された。

会場が広い場合は特に問題がないとの意見もあり、現状ではオープンな受付体制が望ましいとの認識で

一致。

2) 東京都への事業変更申請について

野口幸作 副会長：

東京都診療放射線技師会で行っている事業内容に関して、付け加える形で文言の修正を行った。また、厚生調査委員会の事業内容に関しても文言の修正を行った。ご審議をお願いしたい。

高野修彰 渉外委員長：

モダリティ別の文言は削除してもよいのではないか。今後、第3地区研修会のように疾患ごとの領域で研修会等を行う可能性があるので、モダリティで限定する必要はないのではないか。

市川重司 教育委員長：

「選択的かつ集中的に講習会を開催するために」の文言も削除してよいのではないか。

鈴木雄一 総務委員長：

講習会名は記載せず、赤字の部分を「講習会など」のみにしてもよいのではないか。

か。

関 真一 副会長：

講習会名は残した方がよいのではないか。

市川重司 教育委員長：

「認定(養成)、集中、実践講習会」を包括するように、実践集中講習会という文言に修正するのはいかがでしょうか。

野口幸作 副会長：

現在はMRI集中講習会となっているので、今後はMRIだけでなく、X線撮影やCTも実践集中講習会という名称に統一するという認識で良いのか。

市川重司 教育委員長：

今後は実践集中講習会という名称で統一する。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

3) 新入退会について

6月：新入会 26名、転入 2名、転出 1名、退会 1名

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

江田哲男 会長：

新卒で入会した方が現在19名であるが、例年と比較すると少ない。今年度新卒の方は、告示研修のカリキュラムを養成学校で修了しているためであると考えられる。この傾向は全国的にも起きている状況である。各職場においても、新卒で入職した方々に対して、技師会が魅力的な団体であることを引き続き広報していただきたい。

地区質問、意見

第6地区：

勉強会の案内をプリントにて告知している施設がある。最近の勉強会はQRコードで簡便に申し込みができる様になっている。東放技の研修会案内もHPからQRコード付きのPDFにて出力する事ができる様になるとプリント掲示で施設のスタッフに案内が容易になり、また申し込みも簡単にになって会員、非会員に関わらず告知できる様になると考えるが、検討いただけないか。

竹安直行 情報委員長：

PDFに関しては、リーフレットのような形式であればよいのか。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

会誌がPDF形式で出力できればよいと思う。さらに、会誌の中にもQRコードが掲載できれば申し込みしやすいのではないか。

竹安直行 情報委員長：

QRコードに関しては、研修会の申し込みフォームにリンクすればよいのか。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

そのほうが良いと考える。

竹安直行 情報委員長：

現状、皆さまから事業申請書をいただいてからホームページを作成し、その後QRコードを作成する。この場合、QRコードを会誌に掲載することが時間的に間に合わない可能性がある。岩井編集委員長とどの段階でQRコードを形成できるのか、現在検討中である。PDF出力に関しては、別途改修が必要となるため、実現は難しいと考えている。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

例えば、研修会のホームページを印刷した際に、

QRコードも掲載することは可能でしょうか。

竹安直行 情報委員長：

現在のホームページを印刷する際は、A4サイズのままで印刷される仕組みにはなっておらず、80%程度に縮小しないと網羅して印刷はできない状況である。何回かテストを行い、前向きに検討させていただきたい。

連絡事項

市川重司 教育委員長：

フレッシャーズ、ワンコインセミナーは2回にわたり130名以上が参加し盛況であった。来年度は運営役員のシャッフルや新教材作成を検討し、ワンコイン

セミナーとして新たな形で実施予定。

市川篤志 学術委員長：

メディカルマネジメント講習会、きめこまやかな生涯教育が開催されるので広報をお願いする。

竹安直行 情報委員長：

第1地区の勉強会の参加可能定員を増やし、再申し込み可能になっている。広報をお願いする。

桐 洋介 特別委員長：

関東甲信越学術大会が横浜で開催される。7月5日(土)にインターナショナルセッションがあるのでご参加をお願いする。

中尾 愛 入会促進委員長：

第4地区でのリーフレットの配布を感謝する。今後もご協力をお願いする。

江田哲男 会長：

今週末に関東甲信越学術大会が開催される。関東甲信越役員会議の議題として、学術大会のスリム化(現行3日間→2日間開催への提案)が審議事項となっている。2日間開催に関する意見(賛否、希望内容)を求められている。本会からは、ウィークデーの開催、参加費の減額、シンポジウムや教育を重視したイベントとして多くのセッションが必要なのでポスターセッションの提案等を考えている。

予算について、昨年度は約500万円の赤字であった。主な理由は4つ。①コロナ収束によって活発に事業や会議が展開されたこと。②会議の出席率が高くなった(約190万円増)③会誌の印刷製本・発送関係費用の値上がり(約110万円増)④入会促進で140名の会員が増えたが、その分の収入がなかったこと。本会では支出の削減を実施する。通信雑費を中心に見直しを考えている。次回の理事会で改めて過去データを提示して説明予定。

今後の予定について（総務委員会）

関東甲信越学術大会、メディカルマネジメント講習会、きめこまやかな生涯教育、実践X線講習会、城東支部研修会、第1地区研修会を開催予定。

8月の理事会開催はないが、7月に専門部委員会が開催される。7月中に質問や委員会報告があれば遠慮なく。

以上

東 放 見 聞 錄

ドライブとツーリングによるストレス解消について

専門部広報委員長：江積孝之

何故、ドライブやツーリングはストレスを解消できるのだろうか？

現代社会では、仕事や人間関係のストレスが心身に大きな影響を及ぼす。私は、病院での入職面接においてもストレス解消の仕方は、仕事を長く続けていく上で重要だと考え、必ず質問するようにしている。これには様々な解消法を聞くことが出来て大変参考になる。

私にとってはドライブやツーリングとなるがどのような状況に癒されているのかを調べてみた。近年は心理学や医学の分野でも「自然や移動がもたらす癒し効果」に注目が集まっているとの事である。

ドライブが心を癒す理由

1. 風景の変化が脳をリフレッシュ
2. 音楽と運転のリズムが自律神経を整える
3. 適度な集中力が「マインドフルネス効果」を生む
4. 小旅行による「非日常」がストレスを軽減

この中でいうと私にとって癒し度の高い順だと2、3、1、4となる。

2. の理由に癒されるのは私自身の好みによる所が大きい。加速する為の圧倒的なトルクと馬力、官能的なエンジンサウンド（個人的には甲高い音が好み）、機敏に曲がり安定感ある足回りによる操作性。エンジン音は単なる騒音ではなく、音には低周波成分が含まれており、これが人間の体に「振動」として伝わる。一定のリズムや低音は心拍や呼吸に同調し、安心感を生み出す。また官能的なサウンドとは脳内でドーパミンが分泌され、これは音楽を聴いたときの快感と同じ仕組みである。私がかつて聴いたこれらに該当するサウンドは、F1のエンジン音（V10 NA時代）である。エンジンの回転が上がるたびに音と振動と匂いが交錯し、ドライバーの感覚を一つ残らず支配していく、純粹で濃密な時間。そして走り終えた後、耳の奥にはまだ、あの澄み切った金属音が静かに鳴り続けている。

3. の理由としては操作に関する所であるが、自ら操るという意味ではマニュアルもしくはパドルシフトによるセミオートマチックが相応しいであろう。私がこれまでドライブした車でこれらを満たしたのは、マツダのRX7（FD3S）。280馬力、6速MT。これは空力を考えられた美しい流線形のデザインとロータリーエンジンが最高であった。ノーマルでも十分であったが私はこのマシンにフルエアロによる更なる空力効率とパワーを与えた。車重も軽く、鋭い加速とよく曲がり、官能的なロータリーサウンド。五感を満たし魂を揺さぶられ最高のストレス解消が出来た。

次はBMW M5（E60系）である。この車は5代目M5でBMW史上でも非常に特別なモデルであった。エンジンはF1直系の技術を採用した自然吸気5.0LのV10エンジン。ノーマルで507馬力、トルクは520 Nm。7速セミAT採用。F1で使用されているローンチコントロールシステムも搭載されており、至る所にF1技術が注ぎ込まれていた。強烈なGを感じる加速とV10エンジンの甲高いエキゾーストサウンド。一方で燃費はリッター2と燃料計が物凄い勢いで下がる緊張感。この他、BMWはシルキーシックスと呼ばれる直列6気筒エンジンのまるで絹のように滑らかに回るエンジンによるスムーズで気持ちの良い加速も一品でかつてF1最強エンジンと呼ばれたBMWパワーは顯在であった。

これらの車は大いに私の魂を揺さぶり、マインドフルネス効果によりに最高のストレス解消をすることが出来た。

話は変わるが昔どこかの放射線科医の先生がレースで優勝を目指し極限までカリカリにチューンされたF1マシンとMRIでカリカリにチューンされたシーケンスをはしらせ、求めている画像を得るのは似ていると書かれている医学雑誌（おそらく画像診断）を読み、MRIに更に興味を持った事があった。

現在は癒される理由も1. と4. の比重が年齢とともに高くなってきたのを感じている。

最近はバイクツーリングが主流で風を感じ、自然との一体感や移り行く風景、行った先での食事、カワサキ4気筒（Z900RS）の官能サウンドを楽しんでいる。

このように私は技師になってから様々な時をこれらの車、バイクでドライブ、ツーリングをしてストレスを解消してきた。今後の人生においても、どのような乗り物が寄り添ってくれるのかを楽しみながら、日々の仕事も精進していきたいと考えている。

技師会に入るなら今がチャンス!!

新入会無料キャンペーン

令和8年度まで延長決定!!

東京都診療放射線技師会費

新卒・既卒問わず

入会費5,000円

▶ 0円

しかも

技師免許取得年度に入会すると…

日本診療放射線技師会 (JART) 入会費

入会金5,000円+初年度会費14,000円も0円

技師会に入ると何ができる?

- ・付帯保険に加入出来る
- ・会誌が定期的に届く
- ・会員価格で勉強会に参加できる

まだまだ情報が沢山! 詳細はこちら→

 公益社団法人 東京都診療放射線技師会



Postscript

学

術大会翌日、突然の腰痛に襲われました。特に重いものを持ち上げたりしたのではないですが、症状的には「ぎっくり腰」かと…。ぎっくり腰は医学的な病名ではない。そうで、正式には「急性腰痛症」というそうで、急激に発症した腰痛全般を指すそうで、欧米では「魔女の一撃」とも呼ばれているそうです。

ぎっくり腰の発症のきっかけとしてよく知られているのは「重い物を持ち上げた拍子に発症する」ケースですが、実際には「くしゃみをした時」「下に落ちた物を拾おうとした時」や、「ただ立ち上がりろうとしただけ」など、些細な動作がきっかけで起きることもあるそうです。少し体をねじったのそれが原因かと。

調べてみると、ぎっくり腰のはつきりとした原因はいまだ解明されておらず、ぎっくり腰になった時に体の中で何が起こっているのかは実はよく分かっていないそうです。なの

で、ぎっくり腰の急性腰痛症は、腰椎椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症、腰椎圧迫骨折など、はっきりした病名がつかない全ての急性腰痛の総称のようです。

また、急な背中の激しい痛みが起る「ぎっくり背中」や首に突然激しい痛みが生じ、動かすことが困難になる「ぎっくり首」というのもある。そうで、病名としてはそれぞれ筋・筋膜性疼痛症候群、急性頸部痛というそうです。

いずれにしても安静が第一ですが、痛いというだけで辛く、集中力も働かないものです。日頃からストレッチやウォーキングなど適度な運動で筋肉や関節の柔軟性を保つことや、体を支える筋肉の強化といった予防に努めようと思います。

<すえぞう>

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)
PDRファーマ(株)

東京放射線 第72巻 第9号

令和7年9月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和7年10月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

岩井譜憲

森 美加

田沼征一

志田晃一

浅沼雅康
(担当副会長)

会員動向

2025年4月期～8月期

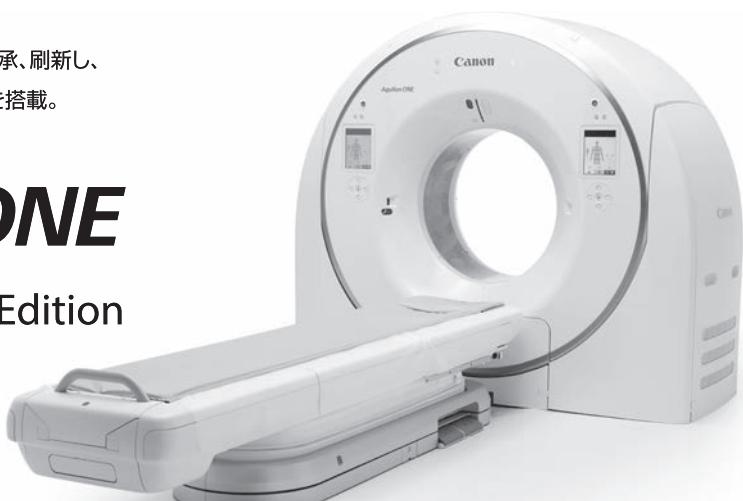
年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2024年度末集計	2,702	279	41	28	151
2025年 4月	2,742	40	6	5	1
2025年 5月	2,762	31	2	6	7
2025年 6月	2,788	26	2	1	1
2025年 7月	2,821	36	1	0	4
2025年 8月	2,836	17	2	2	2

Canon

医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術^{*1}を搭載。

Aquilion ONE
INSIGHT Edition



*1 自動化技術：設計の段階で AI 技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有しておません。
[一般的な名称] 全身用X線CT診断装置 [販売名] CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A [認証番号] 305ACBZX00005000

B000893

FUJIFILM
Value from Innovation

液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。
液体ヘリウムをまったく使用せず、極低温状態を維持します。
液体ヘリウムによるクエンチ爆発※は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、
復旧にかかる時間とコストの低減へ。



ECHELON Smart ZeroHelium

REiLI

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

製造販売業者
富士フィルム株式会社

販売業者
富士フィルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル
fujifilm.com/fms/

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart 認証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フィルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

〒二六〇〇三
荒川区西日暮里二一二二一五〇五
発行所
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
TEL・FAX(03)3806-7724

印刷所

東京都墨田区立川二十一十七
株式会社 キタジマ

定価

金四二〇円（税込）